



令和6年11月1日  
目黒区立駒場保育園園長

朝夕の気温がぐっと下がりましたが、日中は活動しやすい気候です。散歩先の公園にも秋の自然物がたくさんあり「ただいま～」と笑顔で帰ってくる子どもたちの手やポケットは、たくさんの宝物であふれています。

先月は4.5歳児が川越市まで芋ほり遠足に出かけました。バスの中では歌をうたったり、クイズをしたりと1時間15分ほど楽しく過ごして農園に到着です。すみれ組の子どもたちはバスを降りるなり「おなかすいたね」「お弁当食べたいね」と話していたものの、目の前に広い畑が見えると「ひろ～い」「おいもはどこ？」と、初めて見る広い畑に目を輝かせていました。畝の前にしゃがんで最初はおそるおそる、そっと土を撫でていきます。「10本の指を使って、もぐらさんみたいに力いっぱい掘ってみよう」と見本を見せ、土をかき分けていくとお芋が顔を出しました。「あ、見えた」という声につられて、他の子どもたちも掘る手に力が入ります。ひまわり組は去年の経験もあり黙々と土をかき分けています。ところが「見えてきたんだけど、なかなか掘れないんだよ」と悪戦苦闘の様子です。それもそのはず、どのお芋も大きくて太いものばかりだったので、掘り出した時の感慨もひとしおです。「見て～、こ～んなにおっきいのがとれたよ」と満面の笑みで手に持ったお芋を高く掲げ誇らしげでした。土の中からいろいろな虫たちも顔を出し、そのたびにびっくりしたり「なになに？」とみんなで頭をくっつけて見入っていました。楽しんで五感や体力を使いながらの貴重な体験は、これからの様々な活動への期待や意欲に繋がっていくことでしょう。

11月17日(日)は「家族の日」です。少子化の現代、多様な家族形態があることを踏まえ家族や地域の大切さについて理解を深めてもらうため11月第3日曜日は「家族の日」、その前後各1週間を「家族の週間」と内閣府で定めています。家族についての講演を受けた時、講師の方は「忙しい毎日でも、1日1回子どもの目を見ながら体に触れて名前を呼んであげてほしい」「子どもに体と言葉で愛していることを伝えてほしい」と話していました。愛情のかけ方は時間よりも密度が大事とのこと。保育園でも様々な職種の大人同士、子どもたちの情報を共有し合いどの子にも目を向け、ご家族の皆様とともに成長を支援していきたいと思えます。

## 11月の予定

交通安全教室	(3, 4, 5歳)
芋汁会	(3, 4, 5歳)
年長北部交流	(5歳)
衾町交通公園	(5歳)
大きくなったね会幼児練習	(3, 4, 5歳)
大きくなったね会総練習	(3, 4, 5歳)
身体計測 避難訓練	

## 芋ほり遠足

畑に到着すると、すでに土の中から顔を出している芋が見えて「お芋がある」と目を輝かせています。「どうやって掘るか覚えているかな」と保育士に聞かれると大きく頷き、両手で芋の周りの土を掻き出しています。掘っているうちにツルが別の芋に繋がっていることに気付いて「こっちにもある」と目を大きくさせながらも、芋が折れないように土を掘り続けています。苦労して掘った芋はどれも大きく、家に持ち帰るお土産の芋を悩みながら嬉しそうに選んでいました。芋の袋を持ち上げようとするものの、あまりの重さに「おもた～い」と言いながらも、自分で掘った芋をおうちの人に届けたいと頑張って運んでいました。

## 子どもたちのつばやき

おやつのごぎつねご飯を食べながら  
「どれがきつね？」

3歳児クラス



## <今月は乳児クラスの散歩の様子をお伝えします >

### 0歳児クラス 「あっ、とんぼだ」

新駒場野公園の芝生の上で這ったり歩いたりしていると、とんぼが飛んでいました。「とんぼが飛んでるね」と保育士が声をかけると辺りを見まわしてとんぼを見つけると、保育士と一緒に追いかけ始めました。大好きなリズム遊びのとんぼの歌に合わせて、保育士と一緒に「とーんだからー、ピッ」と片足を上げてポーズをとると嬉しそうな表情になります。最初は様子を伺っていた子ども、保育士や友達の楽しそうな姿を見て、まてまてと這い這いで追いかけて体を揺らしたり手を振ったりしながら、保育士が繰り返し歌うことに期待をもって楽しそうにしていました。これからも散歩先の広い空間でたくさん体を動かし、自然物に触れて、わくわくする気持ちに共感しながらやりとりを楽しんでいきます。



### 1歳児クラス 「どんぐりどこかな」

新駒場野公園で遊び始めると、ドングリを手に持った子がいました。保育士が「何持ってるの?」と聞いて握った手を開いて見せてもらうと、周りにいた子どもたちから「どんぐり!」「私も」という声があがり、どんぐり探しの輪が広がっていきました。「あるかな〜」「ここかな?」などと話しながら探すもののなかなか見つからず、下を見て進んでいくといつの間にか茂みの中に入りこんでいました。そこは少し薄暗く何かが出てきそうな場所ですが、どんぐりを探すことに夢中になってどんどんと進んで行く子どもたち。「あっ」という声の先に行ってみると、そこにはどんぐりだけでなく、紅葉した葉っぱやきれいな石があって、みんな両手いっぱいになるほど拾い集め「見て〜」とまるで宝物のように見せてくれました。散歩先でたくさん歩いたりあちこち探索をして、保育士や友達と一緒に季節を感じながら様々な発見を楽しんでいきたいと思います。



### 2歳児クラス 「秋のお土産を探して」

秋の散歩の楽しみのひとつに木の実拾いがあります。そこで、“自分だけのバッグを作って秋を探しに行こう”と散歩バッグを作りました。チャック付きのビニール袋に色とりどりの丸シールを思い思いに貼っていきます。好きな色の紐をつけ、自分のマークを付けて完成です。



「あのバッグはいつ使えるの?」「なにを入れる?」「どんぐりと葉っぱ!」と、散歩への期待が大きく膨らみます。公園に到着して首に散歩バックをかけると、どの子どもも自分だけの散歩バッグに目をキラキラと輝かせていました。気に入った木の実を大事そうに入れる子、夢中で袋いっぱいまで拾う子と様々です。

友達同士で「みてみて、こんなに大きなどんぐりを見つけたよ」「緑と赤の葉っぱがあったよ」「どんぐりはママにプレゼント」など、会話も弾みながら楽しい探索となりました。これからも季節を感じながら探索をして、子どもたちの発見と一緒に楽しんでいきたいと思います。

